

2026年4月24日

会員企業  
ご担当者様

 **DKK**  
株式会社 大銀経済経営研究所  
代表取締役 吉野 達雄

「賃金と雇用に関するアンケート」ご協力をお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、ご回答をお願いするアンケートは、賃上げや雇用の現状についてお尋ねし、県内企業の賃金と雇用の現状を明らかにする趣旨で実施するものです。

ご多忙の折、誠に恐縮ではございますが、なにとぞ本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。なお調査票（PDF）については、当社 HP トップページ「お知らせ」からもダウンロードいただけます。

**2026年5月7日（木）**までに、FAX もしくはメールにてご返信、ご回答くださいますよう重ねてお願い申し上げます。

敬具

（追記）

- ご記入内容につきましては、秘密を厳守し、外部へ公表することは一切ございません。
- 調査結果はとりまとめ後、弊社発行の月刊誌「おおいたの経済と経営」に掲載する予定です。
- アンケートに関するお問い合わせ、送り先は下記までお願い申し上げます。

（アンケート調査票ダウンロードについて）

当社 HP トップページ (<https://www.dkk-oita.co.jp/>) の「お知らせ」内、「賃金と雇用に関するアンケート調査票」から、調査票(PDF)のダウンロードが可能です。



株式会社 大銀経済経営研究所 担当：下駄  
TEL 097(533)8111 FAX 097(533)6888  
MAIL:daisuke\_shimoda@dkk-oita.co.jp

# 賃金と雇用に関するアンケート

FAX 097-533-6888

メール daisuke\_shimoda@dkk-oita.co.jp

(株)大銀経済経営研究所 下駄 宛

期限 5月7日(木)

●貴社（貴事業所）の概況についてお聞かせください。

1. 主業種	1. 農林水産業	2. 建設業	3. 製造業	4. 電気・ガス・水道業
	5. 運輸・情報通信業	6. 卸・小売業	7. 金融・保険・不動産業	8. 宿泊・飲食業
	9. 医療・福祉業	10. その他サービス業	11. その他（ ）	
2. 従業員数	約（ ）人（パート・アルバイト・非正規含む）			
3. 5年前と比較した売上高の推移	1. 増加	2. 減少	3. 横ばい	4. 5年以内に創業

※本アンケートにおける「賃上げ」には定期昇給を含みます

※本アンケートにおける「従業員」にはパート・アルバイト・非正規社員を含みます

問1 全ての方にお聞きします。昨年度（2025年度）に賃上げを行いましたか。（〇はひとつ）

1. 行った	2. 行っていない
--------	-----------

問2 全ての方にお聞きします。

貴社の今年度（2026年度）の賃上げ（定期昇給を含む）の状況を教えてください。（〇はひとつ）

1. 賃上げを行った（行う予定）	2. 賃上げを行わなかった（行う予定はない）
------------------	------------------------

1. と回答した方は下記へ

2. と回答した方は問3へ

●賃上げの内容を教えてください（〇はいくつでも）				
1. 定期昇給	2. 基本給増額（ペーアップ）	3. 賞与（一時金）増額	4. 初任給増額	
5. 再雇用賃金増額	6. その他（ ）			
●賃上げの程度を教えてください（〇はひとつ、定昇分含む）				
1. 1%未満	2. 1～3%未満	3. 3～5%未満	4. 5～10%未満	5. 10%以上
6. わからない	7. その他（ ）			
●賃上げの理由を教えてください（〇はいくつでも）				
1. 社員のモチベーション向上	2. 人材の確保・採用	3. 物価上昇への対応	4. 社会的要請への対応	
5. 同業他社と水準を合わせる	6. 同一労働同一賃金への対応	7. 最低賃金引き上げへの対応	8. 従業員からの要望	
9. その他（ ）				

問3 問2で「2. 賃上げを行わなかった（行う予定はない）」と回答された方へお聞きします。

賃上げを行わなかった（行う予定はない）と決めた経緯を教えてください。（〇はひとつ）

1. 行いたかったが、できなかった（できない） →問4へ	2. 必要性を感じなかった（感じていない） →問5へ
3. その他（ ） →問5へ	

問4 問3で「1. 行いたかったが、できなかった（できない）」に回答された方へお聞きします。

行いたかったが、できなかった（できない）理由の背景を教えてください。（〇はいくつでも）

1. 価格転嫁できないことによる収益の減少	2. 市場環境悪化による収益の減少
3. 事業の先行き不透明感	4. 既往債務の返済を優先するため
5. 設備投資を優先するため	6. 賃上げより雇用維持を優先するため
7. 親会社の意向	8. その他（ ）

問5 全ての方にお聞きします。他社との賃金の差に起因する人材の移動はありましたか。（〇はいくつでも）

1. 離職が発生した	2. 中途採用できた	3. 賃金に起因する移動はない
4. その他（ ）		

問6 全ての方にお聞きします。これから先、賃上げを行う（今後も行う）に当たって必要と考えられることを教えてください。（〇はいくつでも）

1. 価格転嫁の浸透	2. 販売数量、客数の増加	3. 新たな事業、サービスの開発
4. 生産性の向上	5. 従業員の能力向上	6. 原材料等価格の低下
7. サプライチェーンの正常化	8. 補助・助成制度の拡充	9. 税制優遇の拡充
10. 従業員の削減	11. 人件費以外のコスト削減	12. その他（ ）

問7 全ての方にお聞きします。賃上げに取り組んだ効果、賃上げに取り組むうえでの課題などを教えてください。

--

問8 全ての方にお聞きします。貴社の今年度（2026年度）の採用について教えてください。（〇はいくつでも）

1. 新卒採用した	2. 中途採用した	3. 募集したが採用を見送った
4. 募集したが応募がなかった	5. 採用の必要がなかった	6. その他（ ）

問9 全ての方にお聞きします。貴社の従業員数の現状を教えてください。（〇はひとつ）

1. 不足 →問10・11へ	2. 適切 →問12へ	3. 過剰 →問12へ
----------------	-------------	-------------

問10 問9で「1. 不足」と回答された方へお聞きします。

従業員数が不足となっている職種を教えてください。（例：現場作業員、外回りなど）

--

問11 問9で「1. 不足」と回答された方へお聞きします。

従業員数不足への対応方法を教えてください。（〇はいくつでも）

1. 正社員の増員	2. 非正規社員の増員	3. 高齢者・外国人など多様な人材の活用
4. 従業員の能力開発による生産性向上	5. 設備投資による業務効率化	6. 業務過程改善による効率化
7. 残業時間の増加	8. フレックスタイム制の導入	9. 業務の外注化
10. 副業・兼業人材の受け入れ	11. 事業規模・拠点の縮小	12. 特になし
13. その他（ ）		

問12 全ての方にお聞きします。貴社の各業務領域における「企画業務」の対応・方針について、最も近いものをひとつ選び、該当欄に〇を記入してください。（〇は各行にひとつ）

業務領域	社内のリソースで企画しており、十分成果が出ている（不満なし）	社内のリソースで企画しているが、成果が出ていない（不満あり）	外部サービスを利用している（一部でも利用ができれば本選択肢を選択してください）	企画力を入れないか対処していないもしくは企画力を入れる予定なし
経営・営業戦略(事業計画、新規事業等)				
マーケティング(商品開発、プロモーション等)				
人事関連(採用、人事制度、人材育成等)				
各種事務関連(業務改革⇒システム化、マニュアル化等)				
リスク管理(BCP対策、コンプライアンス等)				

差し支えなければ下記へのご記入をお願いいたします。（回答内容についてお尋ねする場合がございます）

貴社名		電話番号	
記入ご担当者名	(部署)	(役職)	(お名前)

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

当社HP トップページ(<https://www.dkk-oita.co.jp/>)の「お知らせ」内、「賃金と雇用に関するアンケート調査票」からも、調査票(PDF)のダウンロードが可能です。